

2019年8・9月号

発行：日本共産党粕江市議団

連絡先：市議会控室3430-1177

日本共産党粕江市議団の活動を紹介します。

保育園の園外活動の安全対策

市長に申し入れー日本共産党市議団



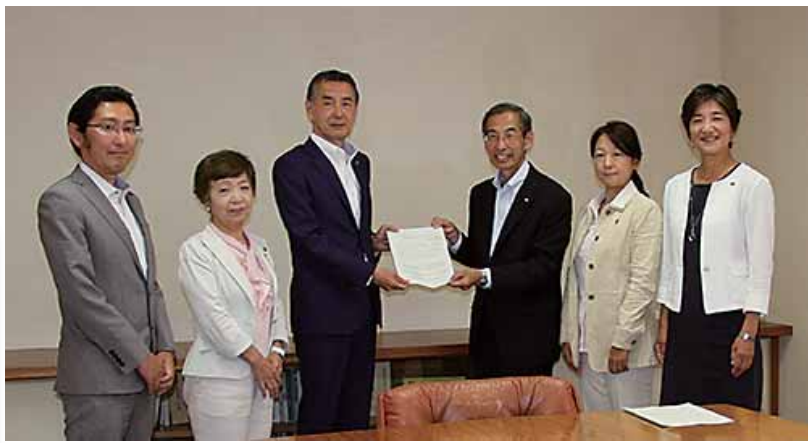
市長「信号機の改善、調布署に要請する」

5月8日に大津市で発生した、散歩中の保育園児と保育者たちの列に暴走した車が突っ込み、16人が死傷した事故は、社会に大きな衝撃を与えました。

散歩などの園外活動を行っているれば、どの園でもこうした事故に巻き込まれる可能性がある中で、

日本共産党市議団は、粕江市内の6カ所の私立保育所・保育施設について、園児のお散歩の状況や危険な箇所、気になっている点等を聞き取り調査し、他の私立保育所・保育施設についてはアンケート調査を実施しました。

それをもちに6月11日、日本共産党市議団は松原市長に、保育園等の園外活動の安全対策について申し入れを行いました(写真)。



申し入れでは、「保育園の周辺の道路の交通量が多く危険」との声が多く出されていることから、保育園に隣接する道路を通行するドライバーに安全運転を促すための、路側帯のカラー舗装化や「保育園あり」などの路面標示、また看板の設置など求めました。また「粕江市役所前交差点など信号機の青の時間が短かすぎて子ども達が渡りきれない」との声も出されており、信

号機のボタン式時間延長装置の設置も求めました。また1・2歳児が遊べる遊具の設置と安全対策、粕江駅周辺への公園・広場の増設とトイレの設置など早急な改善を求めています。

申し入れに対し、松原市長は「い

F M放送で災害情報を伝達 補正予算可決



7月4日の市議会本会議でFM放送設備の整備への補助金841万4千円などを盛り込んだ一般会計補正予算が全会一致で可決されました。

この補助金は、市内に9月に開局予定のFM粕江の放送設備に市として補助金を出すものです。FM粕江は現在、市役所直向かいのローソンの2階にスタジオが改装中です。市は今後このFM粕江と協定を結び災害時には必要な情報を放送しても

らう体制を整えます。

日本共産党の岡村しん議員の質問に総務部長は「コミュニティFMは、あらかじめ周波数が割り当てられており、平常時から市民に災害時はこの周波数で放送するといったことが周知できる。また台風接近時など災害発生前にも情報発信が可能なので、防災行政無線が聞き取りにくい場合でも、室内で聞くことができるなどのメリットが考えられる」と述べました。

岡村議員は「災害情報が放送されるとスイッチを切っていて自動でFMラジオが起動して放送が流れる『自動起動ラジオ』

を無償・有償で配布している自治体がある。総務省も推進している。市として市民への普及を検討してほしい」と要望。総務部長は「新しい取組みなので、まずは放送局が開局されたこと、災害放送がこの周波数で放送されることなど周知をはかっていきたい」と述べました。

日本共産党市議団は「防災行政無線が聞こえない」という市民の声にこたえて、戸別受信機の貸出制度の創設などを求めてきました。FM放送を受信する自動起動ラジオが普及すれば災害時の情報伝達が大きく前進します。



来年度エアコンが設置される予定の三小体育館

学校体育館へのエアコン設置 3年間で全校完了



災害時に避難場所となる学校体育館へのエアコン設置は児童生徒の熱中症対策としても重要です。日本共産党は3月議会で岡村し

ん議員が整備促進を求めたのに続き6月議会では西村あつ子議員がとりあげました。

市は今年度に一小、来年度に一・三・四中と三小、再来年度に五・六小と和泉小にエアコンを設置し全校完了することを明らかにしました。緑野小と二中はすでに設置されています。

保育園周辺の道路の路面標示やカラー舗装 市「効果的な対応していく」

田中とも子議員が質問



この問題では6月議会で日本共産党の田中とも子議員が質問。

保育園周辺の道路の安全対策では都市建設部長が「交通量の多い道路に面している保育園や比較的新しい保育園からは継続的に要望

をいただいている。現地を確認の上、引き続き効果的な対応をしていく」と答弁しました。

かもれない。今月中に、調布警察署の署長にも会うので要請した号機の設定時間の改善は、有効」と答えました。

また「児童遊園のすべり台が高すぎて幼児が遊べない」「降り口などコンクリートむき出しになっている」「粕江駅周辺に一定の広さのある公園がほしい」「粕江駅前広場にトイレを設置してほしい」など各保育園から出された声に対して、市は「コンクリートのおき出し」については改善する」などと答弁しました。